

Social Capitalism

SYUTA(三友周太)

Social Capitalism(Plato's Cave)はSYUTA(三友周太)とロサンゼルス在住の日系二世アーティストのMike Saijo(マイク・サイジョウ)が実施するアートプロジェクトです。

2018年の秋に2人のコラボレーションで生まれた作品は、Mikeが日本で出会った人達の似顔絵を透明なシートに描き、それをSYUTAがホイール状に組んだフレームにはめ込み、吊るして回転させスポットライトを照射してその影を壁に投影します。タイトルのPlato's Caveは古代ギリシアの哲学者プラトンの提唱した「プラトンの洞窟の比喻」を模した作品です。ホイールにはコミュニティ毎の肖像画をはめ込み、異なるコミュニティ毎に複数のホイールを作成して、同一の空間に吊るしてゆきました。肖像画のドローイングは別々の異なるコミュニティとして存在していますが、投影された像は同一空間の中で重なり合うことでの融合を図ります。2020年の展示では、県内でワークショップを開催しながら参加者により制作された作品と、参加者の肖像画を描いて展示をしてゆく計画です。ワークショップを行ったコミュニティ毎にホイールを作成し、複数のホイールを天井からつるします。それぞれのホイールはスポットライトから照射された光から投影された像で一つの空間を埋めてゆきます。回転するホイールから映し出される映像は走馬灯のように巡り空間全体に動きを作り出します。

今後もコミュニティ毎のテーマに基づき、ホイールを制作し展示してゆきます。ホイールには似顔絵だけでなく、個々によって描かれる作品も投影し空間を埋めてゆくことで他者との関わり合いを考えてゆきます。

